

令和3年度 いじめ防止標語コンクール

優秀賞は6作品あり、毎号紹介しています

五所川原市立東峰小学校 2年 山田 ひと

※受賞当時の学校と学年です

優秀賞作品

“キライ” より 友だち “キラリ” みつけよう

自分たちの住む地域の「縄文」を見て、触って、再発見しよう!

—「地元の縄文」再発見プロジェクト—

「地元の縄文」再発見プロジェクトとは?

「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産に登録されました。これをきっかけに、縄文時代の遺跡や出土品に興味を湧いてきた方は多いのではないのでしょうか。

「知っている縄文遺跡は?」と尋ねられたら、三内丸山・是川・亀ヶ岡…などの遺跡を答えたいと思いますが、実はこの「縄文遺跡」、県内すべての市町村に存在しているのです。



青森県の縄文遺跡は何と、3,500カ所以上もあります。ひよっとすると、「縄文遺跡」は皆さんの家の近くにもあるかもしれません。

「地元の縄文」再発見プロジェクトでは、身近なところに縄文遺跡がある（身近なところに縄文人が住んでいた）ことや、縄文時代の遺物（縄文人が地元に残したもの）を分かりやすく、楽しくお伝えしていきます。



プロジェクトその1

「地元の縄文」再発見フェア

「地元の縄文」を再発見するフェアを3年間で県内6地域（R4:下北と中南地域、R5:西北と三八地域、R6:東青と上北地域）で開催します。

第1回フェアは今年の9月17日(土)～18日(日)に下北地域の「むつ来さまい館」で、第2回フェアは11月26日(土)～27日(日)に中南地域の「スポカルイン黒石」で開催します。

※下北地域のフェアには横浜町と六ヶ所村の遺跡も含めます。

内容は出土品展示会、体験学習会、講演会・シンポジウムに分かれていて、小学生から大人まで楽しむことができます。



①出土品展示会

地元から出土した縄文土器等を展示し、調査写真パネル等を用いて分かりやすく解説します。

②体験学習会

地元から出土した土器等に直接触ったり、縄文クイズを解くなどして、縄文を身近に感じることができます。

③講演会・シンポジウム

地元の考古学研究者による講演と県埋蔵文化財調査センターの職員による地元の縄文遺跡の解説後、「地元の縄文」の活用方法等について、聴講者の皆さんとともに考えます。



プロジェクトその2

「あおもり縄文カード」の作製

約100種類のカードを作ります。カードには遺跡や出土品の写真、解説、QRコードが印刷されていて、QRコードをスマホで読み込むと、右に説明している特設サイトに繋がります。道の駅や博物館などで無料配布します。



※デザインは今後変更する可能性があります。

プロジェクトその3

「地元の縄文」インターネットで発信

「地元の縄文」再発見HPを開設します。HPでは、市町村毎に出土品の写真と解説をのぞくことができます。あおもり縄文カードの裏にあるQRコードで簡単にアクセスできます。



※デザインは今後変更する可能性があります。

プロジェクトその4

「縄文[実物]遺物セット」の作製

県埋蔵文化財調査センターが所蔵している出土品を用いて、学校の授業で触ることのできる「縄文[実物]遺物セット」を作製します。「土器セット」と「石器セット」があり、先生や児童・生徒の皆さんが楽しく学べる取扱説明書もついています。



※これらの遺物はイメージです。